

Mランドニュース Vol.196

丹波ささ山校 令和5年8月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 前川 昂希
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「小さな事に忠実でありなさい。
そこにあなたの強さが宿るのでから」

マザー・テレサ

四年ぶりの開催

共習・共育部長

南勝 宏幸

令和元年から始まったコロナウィルス感染症の脅威。ここ数年は、各所で数多くのイベントの中止や延期が余儀なくされておりましたが、今年五月八日から、これまで分類されていた二類相当から五類感染症に引き下げられました。

五類感染症に変更されてからは、約四年間止まっていた時計の針が、少しずつ動き出したように感じています。当然のことながら、コロナの脅威が完全に収束したわけではありませんが、夢と希望を与えるMランドとして、前を向いて進んでいくためにも、四年間中止していたイベントを開催させていただきました。

イベントの内容は、日頃の感謝の気持ちを込めて、教習所内のコースを半日開放し、バイクや車の体験乗車、自家用車を持ち込んでのスキルアップ、自転車の安全教室などをおこない、普段は走ることでできない場所で思う存分楽しめ、そして学びながら走っていただきました。



久しぶりのイベントでしたが、皆さま本当に楽しそうに運転されており、お帰りになられる際もたくさん笑顔を見え、大変嬉しく感じました。

ゲストと職員が一体になって創り上げる意義を改めて感じたイベントを開催できたこと、並びに携わっていただいた全ての皆さまに感謝申し上げます。冒頭でも述べましたが、コロナウィルス感染症に対し油断できる状況ではありませんが、これからもゲストの皆さまと共に成長し、喜んでいただける場を創ってまいります。



「夢」への第一歩

バイクに乗る夢を叶えるためにお越しになられた、安岡好さまから心温まるお便りをいただきましたので、一部をご紹介します。

「オフロードバイクに乗ってみたい!」という、数十年前来の夢を果たさないままだと後悔するんじゃないか、後悔するくらいなら遅いスタートだけどりあえずやってみよう。やってみて、だめなら納得できると。

また、高三の息子の壮絶な反抗期など、数年悩みまくり十円ハゲさえ作った私でしたが、息子との関係改善のキッカケが「バイク」だったことも免許取得の後押しとなりました。

そんな思いから、この年でもやりたいことを実行すべく、最初は説明を聞きに行くだけのつもりでしたが、受付の方に親切に対応していただいたことと、息子が入校を薦めてくれたこともあり、嬉しくてその場で入校を決めました。(笑)

申し込んだからには、「年齢に関係なく、がむしゃらにチャレンジする母の姿を一度みせておこう!」と決意しました。各段階の補習を五回ずつ、卒検も五回受ける覚悟で入校

しましたが、体力やバランス、記憶力、メンタル保持力などの減退を実感して、情けなくて落ち込んで、惨めで泣けてきて、あちこち痛くて、「この年にもなって何やってんだ?」と笑えてもきて…。でも、質は悪くても、出来るのが少しずつ増えてくるのが嬉しくて、「楽しい!」

「悔しい!」の繰り返しの中、でも、バイクに乗れる「楽しい!」気持ちだが、怖い気持ちよりも常に勝っていました。この気持ちをもち続け教習を最後まで受けられたのは、関わってくださった皆さまのおかげです。本当に親切で、褒めて励まして育てて下さり嬉しかったです。

実は、私と篠山自動車教習所とのご縁は三十八年程前に遡ります。幼い私は、父と母が教習を受けているのを駐車場から見ているのを覚えていました。そんなご縁のあるこの場所は、机、床、階段、トイレ、芝生や植木、車庫、駐車場まで整理整頓、管理が行き届いていて、空気が「凛」としていました。

駐車場は、ピシッと揃えて前向き駐車されているので、三日目くらいから、バックで駐車している自分がこの駐車場を乱している感じがしてきて、皆さまの真似をして、何回も切り返

しながらピシッと揃えて駐車していました。(笑)

大型二輪免許が欲しい!といつか血迷わない限り、皆さまとお会いできることはないかもしれないので寂しいですが、オフロードバイクをたくさん練習して、安全に乗れるようになってから、あぜ道や山の中でも二十四時間いつでも患者さんの家に駆けつけるフットワーク軽い訪問看護師を目指します。

優しく接していただいたお返しを、私は看護師として患者さん、そのご家族に還元し、寄り添いたいと思います。

週一回、篠山を走っているのでも、偶然にも路上でお会いできるのを楽しみにしております。本当にダメダメな生徒でしたが、一か月楽しかったです。私の人生にバイクというご褒美を授けて下さりありがとうございます。ありがとうございました。 安岡 好



安岡様からいただいた「オリジナルクッキー」完成度の高さに目を丸くして驚きました!

トライやる・ウィーク

顧客チーム 長谷川 泰之

六月五日から九日にかけて、市内の中学生二名が、トライやる・ウィークでMランドにお越しくださいました。

今回、実施した内容は、近隣清掃やホーム清掃、自転車教室にバイクのメンテナンスなど多岐に渡りました。

私が担当させていただいたのは、バイクのメンテナンスとホーム清掃でしたが、特に印象に残っているのがバイクのチェーン掃除です。数か月、本格的な手入れが行われていなかったチェーンは泥とオイルが混ざり合い、見るも無残な姿になっていました。お二人に清掃道具の使い方を説明し、いざスタート。



慣れない作業に苦勞されながらも、一所懸命取り組ま

た結果、見事に新品のような輝きを取り戻しました。

初めてにも関わらず、慣れない作業を成しえたのは、素直に人の話に耳を傾ける力がお二人に備わっていたからだと思います。

これは物事に取り組む際、とても重要な要素となります。お二人の真摯な姿を目の当たりにして、感激すると共に、そのことを再認識させていただきました。

終了後には、「キレイになって良かった」「気分が良い」との感想をお二人からいただくことが出来ました。

この体験が、この先の人生で役立つことを願って止みません。充実した時間を共有させていただき、本当にありがとうございます。



後日、トライやる・ウィークにお越しくださったお二人からお手紙をいただきましたので、ご紹介させていただきます。

酒井 海里 様

「トライやる・ウィーク」で、さまざまな体験をさせていただきました。ありがとうございます。

五日間の中で特に印象に残ったのは、自転車教室と床磨きです。

まず自転車教室では、普段乗っていてもわからないことがたくさんあったので、知ることが出来てよかったです。

また、ヘルメットの大切さ、自転車も「車」ということを改めて知ることができました。

床磨きでは、ほんの一部の床を一時間かけて磨いて、とても疲れました。

けれど、最初は黒っぽかった床をとてきれいにすることができました。

そのとき、頑張れば頑張るほど、「達成感」がわいてくるのがわかりました。

坂本 理桜 様

先日はお忙しい中、私たちの体験学習のために、お時間をいただきました。ありがとうございます。

五日間の学習の中で特に私の印象に残っていることは「あいさつ」と「返事」です。

毎日、職場に入って事業の方々にあいさつをし、そこから気持ち切り替え、やる気を出すことができます。

そして指示を出してもらった時にも、大きな声で返事をしたら、私も相手の方もお互いが「頑張ろう」「頑張ってくれよう」と思うことができます。

継続は力なり

朝活四班リーダー 前川 昂希

「そうじの力」から改称し、「朝活」として、新体制で活動を始めました。早くも一年が経過しました。「そうじの力」代表の小早祥一朗先生から学んだことを活かしながら、少し

でも良い環境にしたいという思いのもと、朝活の活動を続けてきました。

今回の活動内容は、正面階段、一階ロビー、第四教室の床のメンテナンスです。

いずれの場所も利用頻度が高く、靴のすれた跡や机や椅子の引きずった跡などがあちらこちらに見られ、半年に一度の周期で職員が力を合わせてメンテナンスを行っています。



活動を始めた当初は、慣れない活動にあたふたしておりましたが、回数を重ねることに、作業内容やチームの連携が、はるかに良くなっているのを感じることが出来ます。

以前、朝活活動中に合宿で来られているゲストに清掃業者に勘違いされた時には、嬉しい気持ちと、なにかしっくりこない微妙な気持ちになり、思わず笑ってしまいました。(笑)

チームで協力し、知恵を出し合いながら各場所を綺麗にしていくこの活動は、何度経験しても気持ちがいいものです。

今後も継続して、みんなの力で、過ごしやすいMランドをこれからも創っていきます。



編集後記

「前へ進む」、「夢を叶える」、「頑張る」、「協力」それぞれの記事から「勇気」を、「活力」を皆さまにも感じていただけたら幸いです。

前川 昂希

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にゴミ拾いをしましょう。

8/6(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:大澤

8/27(日) Mランド周辺
AM8:00~9:00 担当:前川

※当日はMランド集合です。(雨天中止)
ご参加いただける方はMランドまでご連絡ください。